

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	大村洋子
発言の会議	令和5年 6月 7日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

### 【件名及び発言の要旨】

#### Ⅰ マイナンバーカードと健康保険証のひもづけを巡る問題について

マイナンバーカードはトラブル発生が枚挙にいとまのない状況となっており、強引に取得を推進してきたツケがここに来て一気に噴出した感がある。今回は健康保険証とのひもづけに絞って伺う。

- (1) 市内の医療機関、薬局における「マイナ保険証」の運用開始率の直近の数値を伺う。また、この数値に対する市長の御所見を伺う。
- (2) 2月下旬の代表質問において、市長は「マイナ保険証」について医師会と意見交換を行いたいとおっしゃっていたが、行ったのか。医療現場における患者、医師の受け止め等の状況はいかがだったか。また、これらに対する市長の御所見も併せて伺う。
- (3) 学校現場では修学旅行の際「マイナ保険証」の取扱いをどのようにしているのか、教育長に伺う。
- (4) 任意取得のマイナンバーカードと皆保険制度である健康保険をひもづけることには矛盾があると思うが、市長の御認識を伺う。

- (5) 患者、医療関係、介護施設、自治体等、関係する至るところで矛盾が噴出している「マイナ保険証」は、この際中止を国に求めることが必要ではないか。

## 2 米海軍基地から流出しているPFASについて

昨年5月に基地内の排水処理場で「特異な泡」が発見されて1年以上がたった。この排水処理場からは、日本の暫定基準値の258倍の12,900ナノグラム・パー・リットルのPFASが検出されたことがあり、市長も抗議し、申入れもされた。議会も10月4日には、速やかな原因究明、情報提供及び実効性ある再発防止策を求め全会一致で決議している。また、本市は12月に米海軍基地へ防衛省、外務省、環境省とともに「立入り」を行った。

- (1) 12月に行った米海軍基地への立入りについて、改めて総括的な御所見を伺う。
- (2) 基地内に粒状活性炭フィルターが設置され、その排水が海へ流れている。本市は独自に海域のサンプリングを行っているが、この数カ月の推移を見て市長はどのような御所見をお持ちか。
- (3) 米海軍基地内の調査の続行と原因究明、市民への公表について、市としてこの間、どのような働きかけをしてきたのか。
- (4) 日本環境管理基準（JEGS）において排水としての取扱いを規定するように国に申し入れていると思うが、状況を示されたい。
- (5) 「特異な泡」から1年以上がたったが、基地内の調査や原因究明の状況が公表されないため不安を覚える。遅々として進まないのはなぜだとお考えか。

## 3 日米の基地機能強化と米軍関係者の薬物使用等疑惑について

今年2023年は1973年に通常型空母ミッドウェーが横須賀に配備されてちょうど50年となる節目の年であり、来年2024年には原子力空母の交代も公表されている。他方、原子力空母ロナルド・レーガンの乗組員に薬物使用等の疑いがあり、米海軍犯罪調査局が調査

していることが明らかとなった。我が国に目を転じれば、岸田政権は「敵基地攻撃能力」の保有の具体化として、今年度予算で400発のトマホークを2,113億円で購入、イージス艦にトマホークを配備する関連器材の取得費として1,104億円を計上した。関連器材は8隻分で、そのうち横須賀にはトマホーク発射可能なイージス艦を2隻配備するという。一方、自衛隊募集のための名簿提出についても引き続き本市に行わせている。これらの状況を踏まえ、以下、質問する。

- (1) 市長は「米海軍のプレゼンスが引き続き維持されることは、非常に重要なことであることは理解します」と発言されたが、「横須賀の母港恒久化やむなし」との御認識なのか。
- (2) 4月29日の神奈川新聞によれば、「横須賀基地が他国から攻撃されるかもしれないという漠然とした不安はいつも感じている。原子力空母が攻撃を受ければ自宅は放射能汚染にさらされる」と、基地近くでお店を営む45歳の男性は語ったという。市長はこのような市民の不安感にどのように応えるか。
- (3) 我が国は福島原子力発電所事故の教訓から「世界で最も厳しい水準」という原発の規制基準を作成した。引き続きの母港容認というのならば規制基準の観点から「アップグレード・近代化」されたジョージ・ワシントンを我が国がチェックすることを国に提案されてはいかがか。
- (4) 原子力空母が「アップグレード・近代化」され、横須賀の拠点の重要性が強まることは、同時に攻撃対象としての危険性も増すということにはほかならないと思うが、市長の御認識はいかがか。
- (5) 原子力空母の来年の交代を横須賀市として、すんなり認めてよいのか。この際、国と米軍に対して認めない旨の意思表示を行うお考えはあるか。
- (6) 薬物使用等疑惑の全体像がはっきりした際には、市として詳細な説明を受け、原因究明、再発防止を要望することが必要だ。司令官に直接会い、求めてほしいと思うがいかがか、市長の姿勢を示されたい。
- (7) 代表質問の際、市長は、自衛隊の強靱化、施設の地下化につ

いて「知らされていないかった」と答弁されたが、その後、国から説明は受けているのか。この問題は国の専管事項だから、本市として知る必要もないとお考えか。

(8) 報道によれば、横須賀にはトマホーク発射可能なイージス艦を2隻配備するという。国から説明はあったのか。そもそも専管事項だから説明を受ける範疇ではないとお考えか。

(9) トマホークは、米軍がイラクやアフガニスタンで使用した地中貫通爆弾（バンカーバスター）と無数の子爆弾が分散するクラスター爆弾のような能力を併せ持つ殺りく兵器であることから、どう考えてもこれらは戦力だと思うが、市長はどのような御認識をお持ちか。

(10) 過去の質疑の中で市長は、自衛隊への名簿提出は法定受託事務である旨の答弁をされているが、今でもそのお考えに変わりはないか。また、併せてこの事務についての本市の基本的考え方を改めて示されたい。

(11) 現在、自衛隊への名簿提出の自治体が増える中で、「私の個人情報を出さないでほしい」ということを明確に態度表明することができる「除外申請」の制度を設置している自治体があるが、この制度について市長はいかがお考えか。名簿提出を続行するならば、少なくとも本市も同制度を設置することが必要ではないか。併せて御所見を伺う。

#### 4 ChatGPTについて

本市は、人工知能が自然な会話を行うことができるシステム「ChatGPT」を自治体で初めて業務に試験的に導入した。

(1) どのような経緯で導入へと至ったのか。また、導入することで、どのような利点があるとお考えか。

(2) 現時点で費用はどの程度かかる見込みか。また、本格導入した場合の費用はどうか併せて伺う。

(3) 技術的な課題だけではない「倫理的・法的・社会的な課題」である「ELSI」について市長はどのような御認識をお持ち

か。公の業務に生成 A I を導入するリスクについてどのようにお考えか。職員研修などは行われたのか、併せて伺う。

## 5 統一協会への施設の貸出しについて

文部科学大臣は5月24日、宗教法人法に基づいて、世界平和統一家庭連合に対する「報告徴収・質問権」の6回目の行使について宗教法人審議会に諮問し、了承された。他方で、統一協会の関連団体である世界平和女性連合が弁論大会の開催を計画しているという。これに対して施設を貸し出さない指示を出している自治体もある。

- (1) 本市も統一協会関連団体に対して公共施設の貸出しを行わないことを明言することが必要だと思うがいかがか。